

換気	排煙	照明	給排水
○	／	○	○



第三十六号の六様式（第六条、第六条の二の二関係）（A4）

定期検査報告書
（建築設備（昇降機を除く。））

（第一面）

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果を報告します。
この報告書に記載の事項は事実と相違ありません。

特定行政庁

熊谷建築安全センター所長 様

年 7 月 10 日

報告者氏名 シンコースポーツ株式会社 館長 吉田隼人

検査者氏名 芝田 健

【1.所有者】

【イ.氏名のフリガナ】 ワカツショウ コジマ スム
【ロ.氏名】 深谷市長 小島 進
【ハ.郵便番号】 366-8501
【ニ.住所】 埼玉県深谷市仲町11番1号
【ホ.電話番号】 048-571-1211

【2.管理者】

【イ.氏名のフリガナ】 シンコースポーツ株式会社 カンチョウ ヨシタ ハヤト
【ロ.氏名】 シンコースポーツ株式会社 館長 吉田隼人
【ハ.郵便番号】 366-0816
【ニ.住所】 埼玉県深谷市榎合763
【ホ.電話番号】 048-574-7764

【3.報告対象建築物】

【イ.所在地】 埼玉県 深谷市 榎合763
【ロ.名称のフリガナ】 ワカグリーンプーク(パティオ)
【ハ.名称】 深谷グリーンパーク(パティオ)
【ニ.用途】 屋内プール

【4.検査による指摘の概要】

【イ.指摘の内容】 ☒ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし
【ロ.指摘の概要】 機械換気設備換気量不足 非常用照明の不点灯
【ハ.改善予定の有無】 ☐ 有 (年 月に改善予定) ☒ 無
【ニ.その他特記事項】

(台帳番号: G - 01 - 18 - 0003)

※受付欄	※特記欄	※整理番号欄
年 月 日	 	
第 号		
係員氏名		

次回の定期報告書の提出
期限は 8 年 11 月 24 日です

定期検査報告書
(第二面)

建築設備の状況等

【1. 建築物の概要】										
【イ. 階数】	地上	2	階	地下	階					
【ロ. 建築面積】	5960.950 m ²									
【ハ. 延べ面積】	7770.080 m ²									
【ニ. 検査対象建築設備】	☒ 換気設備	☐ 排煙設備	☒ 非常用の照明装置							
	☒ 給水設備及び排水設備									
【2. 確認済証交付年月日等】										
【イ. 確認済証交付年月日】	平成	7	年	6	月	30	日	第	527	号
【ロ. 確認済証交付者】	☒ 建築主事等	☐ 指定確認 検査機関	()							
【ハ. 検査済証交付年月日】	平成	8	年	3	月	29	日	第	473	号
【ニ. 検査済証交付者】	☒ 建築主事等	☐ 指定確認 検査機関	()							
【3. 検査日等】										
【イ. 今回の検査】	令和	7	年	9	月	24	日	実施		
【ロ. 前回の検査】	☒ 実施 (令和	6	年	11	月	1	日	報告)	☐ 未実施	
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】	☒ 有	☐ 無								
【4. 換気設備の検査者】										
(代表となる検査者)										
【イ. 資格】	()建築士	()登録	第		号					
	建築設備検査員		第	D90050171	号					
【ロ. 氏名のフリガナ】	シバタ ケン									
【ハ. 氏名】	芝田 健									
【ニ. 勤務先】	株式会社サンワックス									
	()建築士事務所	()知事登録	第		号					
【ホ. 郵便番号】	360-0024									
【ヘ. 所在地】	埼玉県熊谷市問屋町2-5-13									
【ト. 電話番号】	048-520-3000									
----- (その他の検査者) -----										
【イ. 資格】	()建築士	()登録	第		号					
	建築設備検査員		第		号					
【ロ. 氏名のフリガナ】										
【ハ. 氏名】										
【ニ. 勤務先】	()建築士事務所	()知事登録	第		号					
【ホ. 郵便番号】										
【ヘ. 所在地】										
【ト. 電話番号】										
【5. 換気設備の概要】										
【イ. 無窓居室】	☐ 自然換気設備 (系統 室)	☒ 機械換気設備 (1 系統 1 室)								
	☐ 中央管理方式の空気調和設備 (系統 室)									
	☐ その他 (系統 室)	☐ 無								
【ロ. 火気使用室】	☐ 自然換気設備 (系統 室)	☒ 機械換気設備 (1 系統 1 室)								
	☐ その他 (系統 室)	☐ 無								
【ハ. 居室等】	☐ 自然換気設備 (系統 室)	☐ 機械換気設備 (系統 室)								
	☐ 中央管理方式の空気調和設備 (系統 室)									
	☐ その他 (系統 室)	☒ 無								
【ニ. 防火ダンパーの有無】	☒ 有	☐ 無								
【6. 換気設備の検査の状況】										
【イ. 指摘の内容】	☒ 要是正の指摘あり	(☐ 既存不適格)	☐ 指摘なし							
【ロ. 指摘の概要】	機械換気設備換気量不足									
【ハ. 改善予定の有無】	☐ 有 (年 月に改善予定)	☒ 無								
【7. 換気設備の不具合の発生状況】										
【イ. 不具合】	☐ 有	☒ 無								
【ロ. 不具合記録】	☐ 有	☐ 無								
【ハ. 改善の状況】	☐ 実施済	☐ 改善予定 (年 月に改善予定)	☐ 予定なし							

定期検査報告書

(第二面の2)

【8. 排煙設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号
建築設備検査員

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号
建築設備検査員

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【9. 排煙設備の概要】

【イ. 避難安全検証法等の適用】 ☐ 区画避難安全検証法 (階) ☐ 階避難安全検証法 (階)
☐ 全館避難安全検証法 ☐ その他 ()

【ロ. 特別避難階段の階段室又は付室】

☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 加圧式 (区画) ☐ 無

【ハ. 非常用エレベーターの昇降路又は乗降ピット】

☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 加圧式 (区画) ☐ 無

【ニ. 非常用エレベーターの乗降ピットの用に供する付室】

☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 加圧式 (区画) ☐ 無

【ホ. 居室等】

☐ 吸引式 (区画) ☐ 給気式 (区画) ☐ 無

【ヘ. 予備電源】

☐ 蓄電池 ☐ 自家用発電装置 ☐ 直結エンジン
☐ その他 ()

【10. 排煙設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】 ☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】 ☐ 有 (年 月に改善予定) ☐ 無

【11. 排煙設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】 ☐ 有 ☐ 無

【ロ. 不具合記録】 ☐ 有 ☐ 無

【ハ. 改善の状況】 ☐ 実施済 ☐ 改善予定 (年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【12. 非常用の照明装置の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号
建築設備検査員 D90050171

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

(その他の検査者)

【イ. 資格】 () 建築士 () 登録 第 号
建築設備検査員

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

定期検査報告書
(第二面の3)

【13. 非常用の照明装置の概要】

【イ. 照明器具】

☒ 白熱灯 (7 灯) ☐ 蛍光灯 (灯)
☒ LEDランプ (146 灯) ☐ その他 (灯)

【ロ. 予備電源】

☒ 蓄電池(内蔵形) (居室 123 灯、廊下 20 灯、階段 10 灯)
☐ 蓄電池(別置形) (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
☐ 自家用発電装置 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
☐ 蓄電池(別置形)・自家用発電装置併用 (居室 灯、廊下 灯、階段 灯)
☐ その他 () [イ: 153 灯、ロ: 153 灯]

【14. 非常用の照明装置の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】

☒ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☐ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

非常用照明の不点灯

【ハ. 改善予定の有無】

☐ 有 (年 月に改善予定) ☒ 無

【15. 非常用の照明装置の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】

☐ 有 ☒ 無

【ロ. 不具合記録】

☐ 有 ☐ 無

【ハ. 改善の状況】

☐ 実施済 ☐ 改善予定 (年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【16. 給水設備及び排水設備の検査者】

(代表となる検査者)

【イ. 資格】

() 建築士 () 登録 第 号
 建築設備検査員 第 D90050171 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

シバタ ケン

【ハ. 氏名】

芝田 健

【ニ. 勤務先】

株式会社サンワックス

【ホ. 郵便番号】

360-0024

【ヘ. 所在地】

埼玉県熊谷市問屋町2-5-13

【ト. 電話番号】

048-520-3000

(その他の検査者)

【イ. 資格】

() 建築士 () 登録 第 号
 建築設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

() 建築士事務所 () 知事登録 第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【17. 給水設備及び排水設備の概要】

【イ. 飲料水の配管設備】

☐ 給水タンク (基 m³) ☒ 貯水タンク (1 基 100 m³)
☐ その他 ()

【ロ. 排水設備】

☒ 排水槽 (☒ 汚水槽 ☒ 雑排水槽 ☐ 合併槽 ☐ 雨水槽・湧水槽)
☐ 排水再利用配管設備 ☐ その他 ()

【ハ. 圧力タンクの有無】

☐ 有 ☒ 無

【ニ. 給湯方式】

☒ 局所式 ☐ 中央式

【ホ. 湯沸器】

☐ 開放式燃焼器 ☐ 半密閉式燃焼器 ☐ 密閉式燃焼器
☒ その他 (電気式)

【18. 給水設備及び排水設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】

☐ 要是正の指摘あり (☐ 既存不適格) ☒ 指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】

☐ 有 (年 月に改善予定) ☐ 無

【19. 給水設備及び排水設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】

☐ 有 ☒ 無

【ロ. 不具合記録】

☐ 有 ☐ 無

【ハ. 改善の状況】

☐ 実施済 ☐ 改善予定 (年 月に改善予定) ☐ 予定なし

【20. 備考】

定期検査報告書の別紙

建築設備の階別概要

[illegible]

1. 上の階から順に、上詰めで記入してください。
2. 「検査対象建築設備の有無」の欄は、それぞれの設備の階別の欄に、該当する場合には○印、該当しない場合には斜線（／）を記入してください。

当該検査に関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者	芝田 健	
	その他の検査者		

番号	検査項目等			検査結果			担当 検査者 番号
				指摘 なし	要 是 正	既 行 不 適 格	
1	法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）						
(1)	機械換気 設備	機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の外観	給気機の外気取入口並びに直接外気に開放された給気口及び排気口への雨水の侵入等の防止措置の状況	○			
(2)			給気機の外気取入口及び排気機の排気口の取付けの状況	○			
(3)			各居室の給気口及び排気口の設置位置	○			
(4)			各居室の給気口及び排気口の取付けの状況	○			
(5)			風道の取付けの状況	○			
(6)			風道の材質	○			
(7)			給気機又は排気機の設置の状況	○			
(8)			換気扇による換気の状況	○			
(9)			各居室の給気口及び排気口における物品の放置の状況	○			
(10)		機械換気設備（中央管理方式の空気調和設備を含む。）の性能	各居室の換気量	○			
(11)	中央管理室における制御及び作動状態の監視の状況		—	—	—	—	
(12)	中央管理 方式の 空気調和 設備	空気調和設備の主要機器及び配管の外観	空気調和設備の設置の状況	—	—	—	—
(13)			空気調和設備及び配管の劣化及び損傷の状況	—	—	—	—
(14)			空気調和設備の運転の状況	—	—	—	—
(15)			空気ろ過器の点検口	—	—	—	—
(16)			冷却塔と建築物の他の部分との離隔距離	—	—	—	—
(17)		空気調和設備の性能	各居室の温度	—	—	—	—
(18)			各居室の相対湿度	—	—	—	—
(19)			各居室の浮遊粉じん量	—	—	—	—
(20)			各居室の一酸化炭素含有率	—	—	—	—
(21)			各居室の二酸化炭素含有率	—	—	—	—
(22)			各居室の気流	—	—	—	—
2	換気設備を設けるべき調理室等						
(1)	自然換気 設備 及び 機械換気 設備	排気筒、排気フード及び煙突の材質	○				
(2)		排気筒、排気フード及び煙突の取付けの状況	○				
(3)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の大きさ	○				
(4)		給気口、排気口及び排気フードの位置	○				
(5)		給気口、給気筒、排気口、排気筒、排気フード及び煙突の設置の状況	○				
(6)		排気筒及び煙突の断熱の状況	○				
(7)		排気筒及び煙突と可燃物、電線等との離隔距離	○				
(8)		煙突等への防火ダンパー、風道等の設置の状況	○				
(9)		各居室の給気口及び排気口における物品の放置の状況	○				
(10)	自然換気 設備	煙突の先端の立ち上がりの状況（密閉型燃焼器具の煙突を除く。）	—	—	—	—	
(11)	機械換気 設備	煙突に連結した排気筒及び半密閉式瞬間湯沸器等の設置の状況	—	—	—	—	
(12)		換気扇による換気の状況	○				
(13)		給気機又は排気機の設置の状況	○				
(14)		機械換気設備の換気量		○			

検査結果表
(換気設備)の2

番号	検査項目等	検査結果			担当検査者番号
		指摘なし	要是正	既存不適格	
3	法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室				
(1)	防火ダンパー等の設置の状況	○			
(2)	防火ダンパーの取付けの状況	○			
(3)	(外壁の開口部で延焼のおそれのある部分に設けるものを除く。)	○			
(4)	防火ダンパーの作動の状況	○			
(5)	防火ダンパーの劣化及び損傷の状況	○			
(6)	防火ダンパーの点検口の有無及び大きさ並びに検査口の有無	○			
(7)	防火ダンパーの温度ヒューズ	○			
(8)	壁及び床の防火区画貫通部の措置の状況	○			
(9)	連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器の位置	—	—	—	—
(9)	連動型防火ダンパーの煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器との連動の状況	—	—	—	—
4	上記以外の検査項目等				
特記事項					
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善(予定)年月	
14)	機械換気設備	厨房機械換気設備換気量不足が有ります	機器交換等の修繕が必要です	未定	

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36号の6様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 検査対象建築物に換気設備がない場合は、この様式は記入不要です。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「—」を記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第一(ろ)欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第一(ろ)欄に掲げる検査事項について同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。
- ⑪ 1(9)「各居室の換気量」については、法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室(換気設備を設けるべき調理室等を除く。)の換気状況評価表(別表1)を添付してください。
- ⑫ 2(13)「機械換気設備の換気量」については、換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表(別表2)を添付してください。
- ⑬ 4「上記以外の検査項目等」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。
- ⑭ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を()書きで記入してください。
- ⑮ 要是正とされた検査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

当該検査に 関与した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者	芝田 健	
	その他の検査者		

番号	検査項目等		検査結果			担当 検査者 番号
			指摘 なし	要 是 正	既 存 不 適 格	
1	照明器具					
(1)	非常用の照明器具	使用電球、ランプ等	○			
(2)		照明器具の取付けの状況	○			
2	電池内蔵形の蓄電池、電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置					
(1)	予備電源	予備電源への切替え及び器具の点灯の状況並びに予備電源の性能		○		
(2)	照度	照度の状況		○		
(3)		照明の妨げとなる物品の放置の状況	○			
(4)	分電盤	非常用電源分岐回路の表示の状況	○			
(5)	配線	配電管等の防火区画貫通措置の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	○			
3	電源別置形の蓄電池及び自家用発電装置					
(1)	配線	照明器具の取付けの状況及び配線の接続の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	—	—	—	—
(2)		電気回路の接続の状況	—	—	—	—
(3)		接続部（ただし幹線分岐及びボックス内に限る。）の耐熱処理の状況	—	—	—	—
(4)		予備電源から非常用の照明器具間の配線の耐熱処理の状況（隠蔽部分及び埋設部分を除く。）	—	—	—	—
(5)	切替回路	常用の電源から蓄電池設備への切替えの状況	—	—	—	—
(6)		蓄電池設備と自家用発電装置併用の場合の切替えの状況	—	—	—	—
4	電池内蔵形の蓄電池					
(1)	配線及び	充電ランプの点灯の状況		○		
(2)	充電ランプ	誘導灯及び非常用照明兼用器具の専用回路の確保の状況	○			
5	電源別置形の蓄電池					
(1)	蓄電池	蓄電池等の状況	—	—	—	—
(2)		蓄電池室の防火区画等の貫通措置の状況	—	—	—	—
(3)		蓄電池室の換気の状況	—	—	—	—
(4)		蓄電池の設置の状況	—	—	—	—
(5)	蓄電池の性能	電圧	—	—	—	—
(6)		電解液比重	—	—	—	—
(7)		電解液の温度	—	—	—	—
(8)	充電器	充電器室の防火区画等の貫通措置の状況	—	—	—	—
		キュービクルの取付けの状況	—	—	—	—
6	自家用発電装置					
(1)	自家用発電装置	自家用発電装置等の状況	—	—	—	—
(2)		自家用発電機室の防火区画等の貫通措置の状況	—	—	—	—
(3)		発電機の発電容量	—	—	—	—
(4)		発電機及び原動機の状況	—	—	—	—
(5)		燃料油、潤滑油及び冷却水の状況	—	—	—	—
(6)		始動用の空気槽の圧力	—	—	—	—
(7)		セル始動用蓄電池及び電気ケーブルの接続の状況	—	—	—	—
(8)		燃料及び冷却水の漏洩の状況	—	—	—	—
(9)		計器類及びランプ類の指示及び点灯の状況	—	—	—	—
(10)		自家用発電装置の取付けの状況	—	—	—	—
(11)		自家用発電機室の給排気の状況（屋内に設置されている場合に限る。）	—	—	—	—
(12)		接地線の接続の状況	—	—	—	—
		絶縁抵抗	—	—	—	—

検査結果表
(非常用の照明装置)の2

番号	検査項目等	検査結果			担当 検査者 番号
		指摘 なし	要 是 正	既 存 不 適 格	
6	自家用発電装置				
(13)	自家用発電装置				
(14)	自家用発電装置の性能				
(15)	電源の切替えの状況				
(16)	始動の状況				
(17)	運転の状況				
	排気の状況				
	コンプレッサー、燃料ポンプ、冷却水ポンプ等の補機類の作動の状況				
7	上記以外の検査項目等				
特記事項					
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定） 年月	
2(1)	予備電源	非常用照明の不点灯があります	器具交換等の修繕が必要です	なし	
2(2)	照度	非常用照明の不点灯があります	器具交換等の修繕が必要です	なし	
4(1)	充電ランプ	非常用照明の不点灯があります	器具交換等の修繕が必要です	なし	

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36号の6様式第二面12欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 検査対象建築物に非常用の照明装置がない場合は、この様式は記入不要です。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「一」を記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第三(ろ)欄に掲げる各検査事項ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第三(ろ)欄に掲げる検査項目について同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。
- ⑪ 2(2)「照度」については、非常用の照明装置の照度測定表(別表4)を添付してください。
- ⑫ 7「上記以外の検査項目等」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。
- ⑬ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合でも特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善(予定)年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を()書きで記入してください。
- ⑭ 要是正とされた検査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分(要是正の状態が写真では区別できない部分を除く。)を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

当該検査に 関した検査者		氏 名	検査者番号
	代表となる検査者	芝田 健	
	その他の検査者		

番 号	検査項目等		検査結果			担当 検査者 番号
			指摘 なし	要 是 正	既 存 不 適 格	
1	飲料用の配管設備及び排水設備					
(1)	飲料用配管及び排水配管 (隠蔽部分及び埋設部分 を除く。)	配管の取付けの状況	○			
(2)		配管の腐食及び漏水の状況	○			
(3)		配管が貫通する箇所の損傷防止措置の状況	○			
(4)		継手類の取付けの状況	○			
(5)		保温措置の状況	○			
(6)		防火区画等の貫通措置の状況	○			
(7)		配管の支持金物	○			
(8)		飲料水系統配管の汚染防止措置の状況	○			
(9)		止水弁の設置の状況	○			
(10)		ウォーターハンマーの防止措置の状況	○			
(11)		給湯管及び膨張管の設置の状況	○			
2	飲料水の配管設備					
(1)	飲料用の給水タンク及び貯 水タンク（以下「給水タン ク等」という。）並びに給 水ポンプ	給水タンク等の設置の状況	○			
(2)		給水タンク等の通気管、水抜き管、オーバーフロー管等の設置の状況	○			
(3)		給水タンク等の腐食及び漏水の状況	○			
(4)		給水用圧力タンクの安全装置の状況	—	—	—	—
(5)		給水ポンプの運転の状況	○			
(6)		給水タンク及ポンプ等の取付けの状況	○			
(7)		給水タンク等の内部の状況	○			
(8)	給湯設備 (循環ポンプを含む。)	給湯設備（ガス湯沸器を除く。）の取付けの状況	○			
(9)		ガス湯沸器の取付けの状況	—	—	—	—
(10)		給湯設備の腐食及び漏水の状況	○			
3	排水設備					
(1)	排水槽	排水槽のマンホールの大きさ	○			
(2)		排水槽の通気の状況	○			
(3)		排水漏れの状況	○			
(4)		排水ポンプの設置の状況	○			
(5)		排水ポンプの運転の状況	○			
(6)		地下街の非常用の排水設備の処理能力及び予備電源の状況	—	—	—	—
(7)	排水再利用配管設備 (中水道を含む。)	雑用水の用途	—	—	—	—
(8)		雑用水給水栓の表示の状況	—	—	—	—
(9)		配管の標識等	—	—	—	—
(10)		雑用水タンク、ポンプ等の設置の状況	—	—	—	—
(11)		消毒装置	—	—	—	—
(12)	その他	衛生器具	○			
(13)		排水トラップ	○			
(14)		阻集器	○			
(15)		排水管	○			
(16)		公共下水道等への接続の状況	○			
(17)		雨水排水立て管の接続の状況	○			
(18)		排水の状況	○			
(19)		掃除口の取付けの状況	○			
(20)		雨水系統との接続の状況	○			
		間接排水の状況	○			

検査結果表
(給水設備及び排水設備)の2

番号	検査項目等			検査結果			担当 検査者 番号
				指摘 なし	要 是 正	既 存 不 適 格	
3	排水設備						
(21)	その他	通気管	通気開口部の状況	○			
(22)			通気管の状況	○			
4	上記以外の検査項目等						
特記事項							
番号	検査項目等	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等	改善（予定） 年月			

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36号の6様式第二面16欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は記入不要です。
- ④ 検査対象建築物に給水設備及び排水設備がない場合は、この様式は記入不要です。
- ⑤ 該当しない検査項目等がある場合は、当該項目の「検査結果」欄及び「担当検査者番号」欄に「－」を記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄は、別表第四（ろ）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表第四（ろ）欄に掲げる検査項目について同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑦に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑨ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑩ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入不要です。
- ⑪ 4「上記以外の検査項目等」欄は、第2第2項の規定により特定行政庁が検査項目等を付加している場合に、当該検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。また、第2第3項に規定する認定検査項目等が定められている場合に、当該認定検査項目等を追加し、⑥から⑩までに準じて検査結果等を記入してください。
- ⑫ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合でも特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目等の番号、検査項目等を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善（予定）年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分（要是正の状態が写真では区別できない部分を除く。）を撮影した写真を別添の様式に従い添付してください。

別表 1 法第 28 条第 2 項又は第 3 項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（A4）

(無窓居室及び集会場等の集会室)

測定年月日	令和 7 年 9 月 24 日	測定機器 メーカー名	マルチ計測器株式会社	型式番号等	GC-2028					
階	室 名	必要有効換気量 (m^3/h)	換気方式	換気設備機種名 *注1	換気状況の評価 *注2	判定				
1 階	委託業者更衣室		一種・二種・三種	218	二酸化炭素濃度 555 ppm	指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				
階			一種・二種・三種			指摘なし・要是正				

注 1) 室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。

注 2) 「換気状況の評価」欄には、外気取入口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。
これに代わる方法として、各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する等を行った場合には、その結果を記入する。

別表2 換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表 (A4)

(火気使用室)

測定年月日	令和 7 年 9 月 24 日	測定機器 メーカー名	日本カノマックス株式会社			型式番号等	MODEL6004		
室番(場所)	使用器具	発熱量 (kW)	換気型式 (n)	必要有効換気量 (m³/h)	開口面積 (m²)	測定風速 (m/s)	*注	測定風量 (m³/h)	判定
2階 厨房	5口レンジ	75.7	40・30・20・2						指摘なし・要是正
	フライヤー	18.8	40・30・20・2						指摘なし・要是正
	フライヤー	21.1	40・30・20・2						指摘なし・要是正
	炊飯器	5.5	40・30・20・2						指摘なし・要是正
	計	121.1	40・30・ <u>20</u> ・2	2252.46	0.6	2.11		4,558	指摘 [★] なし・要是正
			40・30・20・2						指摘なし・要是正
	茹麺器	39.1	40・30・20・2						指摘なし・要是正
	スーブレンジ	36.9	40・30・20・2						指摘なし・要是正
	計	76	40・30・ <u>20</u> ・2	1413.6	0.24	1.11		959	指摘なし・ <u>要是正</u>
			40・30・20・2						指摘なし・要是正
			40・30・20・2						指摘なし・要是正
			40・30・20・2						指摘なし・要是正
			40・30・20・2						指摘なし・要是正
			40・30・20・2						指摘なし・要是正
			40・30・20・2						指摘なし・要是正
			40・30・20・2						指摘なし・要是正

★

注) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

別表 4 非常用の照明装置の照度測定表 (A 4)

測定年月日	令和 7 年 9 月 24 日	測定機器 メーカー名	東京光電株式会社	型式番号等	ANA-F9
光源の種類	最低照度の測定場所		最低照度 (lx)	判定	
	階	部屋・廊下等			
白熱灯	2 階	エントランスホール(吹抜け)① 他6カ所	0	指摘なし・要是正	
蛍光灯				指摘なし・要是正	
LEDランプ (自動検査機能なし)	1 階	外階段 他5カ所	0	指摘なし・要是正	
LEDランプ (自動検査機能あり)				指摘なし・要是正	
その他 ()				指摘なし・要是正	

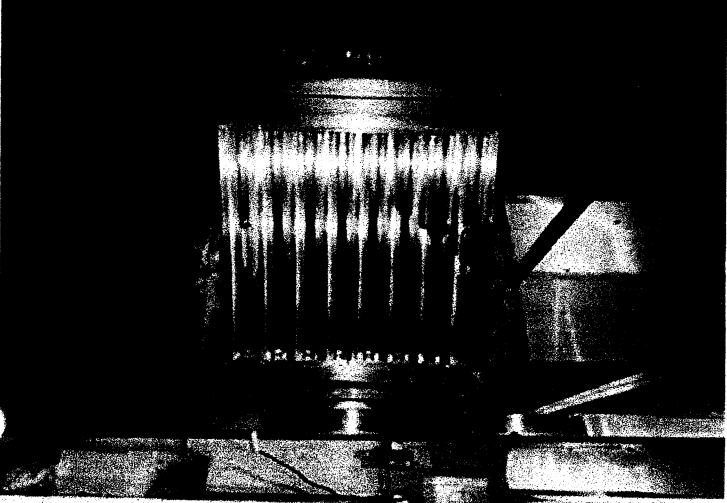
階別	測定場所	測定位置 *注1)	光源の種類 *注2)	照度 (lx) *注3)	判定
1 階	事務室	出入口付近	LED (内) 自動検査機能なし	22	指摘なし・要是正
1 階	外階段	右壁側付近	LED (内) 自動検査機能なし	0	指摘なし・要是正
1～2 階	外階段	右壁側付近	LED (内) 自動検査機能なし	0	指摘なし・要是正
1～2 階	外階段	右壁側付近	LED (内) 自動検査機能なし	0	指摘なし・要是正
2 階	外階段奥外壁	右壁側付近	LED (内) 自動検査機能なし	0	指摘なし・要是正
2 階	エントランスホール(吹抜け)①	中央付近	白熱灯 (内)	0	指摘なし・要是正
2 階	エントランスホール(吹抜け)②	中央付近	白熱灯 (内)	0	指摘なし・要是正
2 階	エントランスホール(吹抜け)③	中央付近	白熱灯 (内)	0	指摘なし・要是正
2 階	エントランスホール(吹抜け)④	中央付近	白熱灯 (内)	0	指摘なし・要是正
2 階	エントランスホール(吹抜け)⑤	中央付近	白熱灯 (内)	0	指摘なし・要是正
2 階	エントランスホール(吹抜け)⑥	中央付近	白熱灯 (内)	0	指摘なし・要是正
2 階	エントランスホール(吹抜け)⑦	中央付近	白熱灯 (内)	0	指摘なし・要是正
2 階	通路 (EV前)	中央付近	LED (内) 自動検査機能なし	24	指摘なし・要是正
2 階	ラウンドフィットネス	中央付近	LED (内) 自動検査機能なし	0	指摘なし・要是正
2 階	更衣室 (25mプール側)	出入口付近	LED (内) 自動検査機能なし	0	指摘なし・要是正
階					指摘なし・要是正
階					指摘なし・要是正

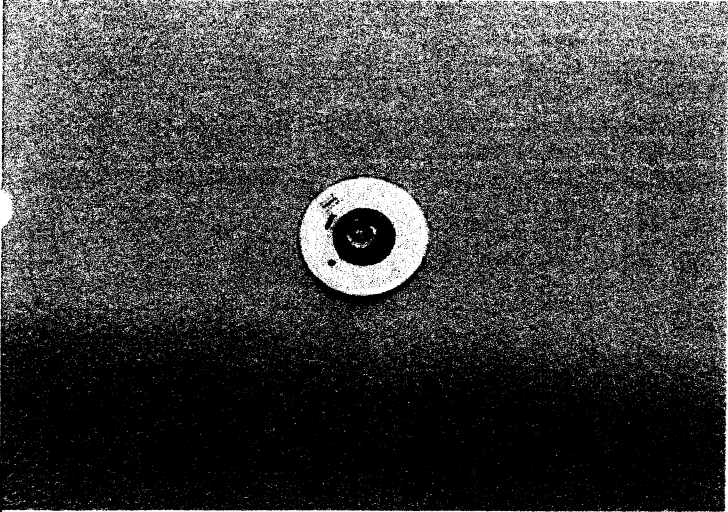
注 1) 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。

注 2) 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LED ランプ (自動検査機能なし)、LED ランプ (自動検査機能あり)、その他の別及び電池内蔵のものにあっては、(内) と付す。

注 3) 「照度」欄には、自動検査機能を有していない場合は、照度の値 (lx) を記入し、自動検査機能を有するものについては、「-」を記入する。

関係写真

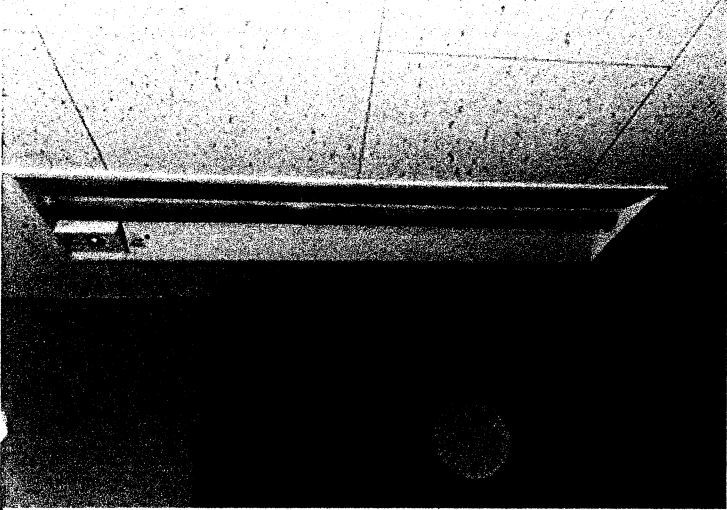
	番号	検査項目等	検査結果
部位	第一号 2(14)	機械換気設備	☒ 要是正 ☐ その他
		特記事項 厨房機械換気設備換気量不足が有ります	

	番号	検査項目等	検査結果
部位	第三号 2(1)(2)4(1)	予備電源、照度、充電ランプ	☒ 要是正 ☐ その他
		特記事項 非常用照明の不点灯が有ります 白熱灯(内) 2階 ホール(吹抜け) 7灯	

(注意)

- ① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目等について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目等についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目等がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「部位」欄の「番号」、「検査項目等」は、それぞれ別記第一号様式から第四号様式の番号、検査項目等に対応したものを記入してください。
- ④ 「検査結果」欄は、検査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。

関係写真

	番号	検査項目等	検査結果
部位	第三号 2(1)(2)4(1)	予備電源、照度、充電ランプ	☒ 要是正 ☐ その他
		特記事項 非常用照明の不点灯があります LED(内) 1～2階 外階段 4灯 2階 更衣室 1灯、ラウンドフィットネス 1灯、 計 6灯	

	番号	検査項目等	検査結果
部位			☐ 要是正 ☐ その他
写真貼付		特記事項	

(注意)

- ① この書類は、検査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目等について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目等についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目等がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「部位」欄の「番号」、「検査項目等」は、それぞれ別記第一号様式から第四号様式の番号、検査項目等に対応したものを記入してください。
- ④ 「検査結果」欄は、検査の結果、要是正の指摘があった場合は「要是正」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外の場合で特記すべき事項がある場合は「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑤ 写真は、当該部位の外観の状況が確認できるように撮影したものを添付してください。